

奥久慈男体山～鷹取岩山行報告



【山行日】2019年 4月 7(日) 晴れ

【集 合】道の駅「しもつけ」P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 1,200円

【メンバー】CL: 鈴木ユ、伊藤、岩淵、梶内、
島田、清水、五月女、津佐、鶴見、並木、福島、
藤原、松館、吉田、渡辺

【コースタイム】道の駅「しもつけ」P6:00＝大円地
P7:40/8:00～奥久慈男体山 9:30/9:50～大円地越
10:20～小草越 11:30～鷹取岩 11:55/12:35～
フジ越 12:55～古分屋敷 13:40/14:00～大円地 P

14:10/14:20＝道の駅「みわ」15:00/15:15＝道の駅「しもつけ」P16:10

山行アンケートで奥久慈男体山の希望があり、去年12月に奥久慈男体山～袋田の滝まで縦走したので、今回は健脚コースで奥久慈男体山に登り鷹取岩までの周回コースを歩く計画にした。

大円地駐車場に着き、準備を整えトイレとストレッチを済ませたら出発する。駐車場から舗装道を右に進み、すぐに右折すると奥久慈男体山登山口の標識がある。ここから見上げる男体山は岩峰で迫

力があり、あの岩壁を登って行くのだなと皆心配そうに見上げる。人数が多いのでここから2班に分かれて登り、男体山山頂まではA班が先行する。橋を渡りお茶畑に沿って登ると分岐になり、左の健脚コースを進む。薄暗いスギの植林帯を登って行くと、沢状の地形になりしばらく進むと枝尾根に出る。ここから10分程登ると滝倉コースとの合流点に出て、右に進むと岩場の急登りが続く。ロープ



や木の根を頼りに登り、急な岩場をよじ登ると岩上の展望台に出る。展望台からは西から南方向の展望が開け、休憩を取って展望を楽しみながらイチゴをいただく。この先はジグザグの急な登りの



後、長いクサリ場が連続し、今日のコースで一番辛い登りだ。クサリ場を登り切ると東屋がある小広い平坦地に出て、右に登って行くと間もなく男体山山頂に着く。山頂には標識とテレビの中継アンテナがあり、日光連山や霞ヶ浦が望め展望が素晴らしい。山頂で大休止し、パイナップルや菓子を食べて展望を楽しむ。ここからはB班が先行し、東の尾根を下り大円地越の鞍部から南に登り鷹取岩を目指す。樹林帯の急斜面を登ると、絶壁の裏側を細い道がアッ

プダウンを繰り返しながら続いている。

やがて岩壁の縁を歩くようになり、男体山や登山口の大円地等の展望を楽しみながら歩いて行く。



まだ芽吹き前で視界が良く眺望を楽しみながら歩けるが、岩壁の縁を辿る道なので慎重に歩く。展望とスリルを楽しみながら1時間ほど歩くと小越の鞍部に着き、休憩して草餅やデコポンをいただきエネルギーを補給する。さらにアップダウンを繰り返し進み、460.4mピークを過ぎると下山道があるフジ越に着く。すぐ先に入道岩が現れ岩の間を通過して一旦下り、クサリ場を登り返すと鷹取岩に着く。ここからの男体山は入道岩が前景に加わり、本日より一番の絶景が楽しめる。

ここでランチタイムとし、お湯を沸かして各自持参したカップ麺やおにぎり等美味しくいただいた。

昼食が済んだら記念写真を撮り、来た道に戻って下山する。ここから再びA班が先行し、フジ越ま

で戻ったら左に急坂を下って行く。ここからは岩壁の間を下って行くので、クサリ場はゆっくり慎重に下って行く。幸い我々のパーティーだけなので、他の登山者を気遣うことなくゆっくり降りることが出来た。岩壁を斜めに横切るように下り、枯れたススキの間を下ると斜面に畑が現れ人家の前を通り舗装道に飛び出る。ここで最後の休憩を取り、パイナップルや菓子を食べてB班を待つ。しばらく待つとB班が無事下山し、休憩したら駐車場に向かう。



民家の間を右に入り、山道を下ると大円地への道に出る。ここから舗装道を左に進むと、トイレがある駐車場に着いた。靴を履き替えトイレを済ませたら出発し、途中道の駅「みわ」に寄って買い物し、予定より早く道の駅「しもつけ」に帰着した。

